

# 環境負荷物質削減の取り組み



## 基本的な考え方

工場からの流出、放出を発端とする水質汚濁、大気汚染や土壌汚染などは、周辺の地域社会にとって脅威になります。ミネベアグループでは、地域との共存が事業活動において不可欠であるとの考えから、環境負荷物質の削減に取り組んでいます。

## 2015年度の取り組み結果

ミネベアグループでは、各国、各地域の環境法令を遵守するために、管理の難しい工場排水等においては、国や周辺地域の法令基準を上回る自主基準値を設定し、日々の監視を行っています。2015年度は当社グループのすべての工場で、漏洩や異臭、騒音、振動など周辺地域に迷惑をかけぬよう、日常の監視や環境パトロールを一層強化しました。

## 事業所における取り組み

### 工場排水の浄化

ミネベアグループでは、排水を河川に放流する際、工場保有の排水処理設備で使用済みの排水を基準値内まで浄化しています。また、各国および所在地域の法令に従って、排水中のpH<sup>※1</sup>（ピーエッチ）、COD<sup>※2</sup>（化学的酸素要求量）、BOD<sup>※3</sup>（生物化学的酸素要求量）、SS<sup>※4</sup>（懸濁物質質量）、ノルマルヘキサン抽出物質<sup>※5</sup>（油分）などを定期的に測定し、自主的に工場排水の監視を行っています。

- ※1 pH（ピーエッチ）：酸性がアルカリ性を示す尺度。pH7が中性。7より小さいほど酸性が強く、7より大きいほどアルカリ性が強い。
- ※2 COD（化学的酸素要求量）：水中の有機物（汚れ）を酸化剤によって酸化するのに消費される酸素量。BOD測定と比べ短時間に測定できるが、信頼性は劣る。CODは一般的に海、湖沼への排水管理に用いられる。
- ※3 BOD（生物化学的酸素要求量）：水中の有機物（汚れ）を微生物が分解するときに必要な酸素量。BODが大きいほど水質は悪い。測定に数日を要する。BODは一般的に河川への排水監視に用いられる。
- ※4 SS（懸濁物質質量）：水中に浮遊している物質の量。数値が大きいほど水質汚濁が著しい。
- ※5 ノルマルヘキサン抽出物質：水に含まれる揮発しにくい油や洗剤などを、ノルマルヘキサンという薬品で抽出した物質。当報告書では鉱油量を表す。



藤沢工場の排水処理設備

## バンパイン工場がタイの工業省より水質保全優秀賞を受賞(タイ)

NMBミネベアタイは、タイの工業省が主催する「企業は河川を愛するプロジェクト」で、環境保護、水質保全への取り組みが認められ、水質保全優秀賞を受賞しました。当プロジェクトは、シリキット王妃の83歳の誕生日（2015年8月12日）を祝って、環境保全、環境復元の大切さを人々に教育、啓発することを目的としています。

バンコク市内の国立劇場で行われた表彰式では、優秀賞を受賞した6社のうちの1社として、東南アジア総支配人の今仲が、タイ工業省のプラモット・ウィッタヤスク副大臣より表彰を受けました。



工業省プラモット・ウィッタヤスク副大臣より表彰を受ける当社の今仲東南アジア総支配人

## 工場排水ゼロシステムの運用(タイ、中国)

ミネベアグループには製品の加工工程で大量の水を使用する工場があり、排水の削減に取り組んでいます。工場で使用された水は、各国各地域の環境法令基準値以下まで浄化され、放流されますが、それでも地域周辺への環境影響はゼロとはいえません。そこで、当社グループでは水使用量の多いタイ、中国の工場において「工場排水ゼロシステム」を導入し、放流する工場排水とその環境影響のゼロ化に取り組んでいます。

このシステムでは、従来、浄化・放流していた排水をさらに浄化し、全量を工場内の使用水に戻すことで、排水をなくします。現在、「工場排水ゼロシステム」はタイのバンパイン工場、アユタヤ工場、中国の上海工場、西岑工場で導入しています。

## 今後の課題・目標

ミネベアグループは、引き続き国内外の環境法令を遵守した事業活動を行うとともに、過去に発生させた環境汚染について、浄化作業を進めていきます。